

地域メッシュ統計からみた高齢化率

地域メッシュ統計とは、緯度・経度に基づき地域をすき間なく網の目（Mesh）の区域に分け、それぞれの区域に統計データを編成したもので、総務省統計局では、国勢調査及び事業所・企業統計調査について地域メッシュ統計を整備しています。

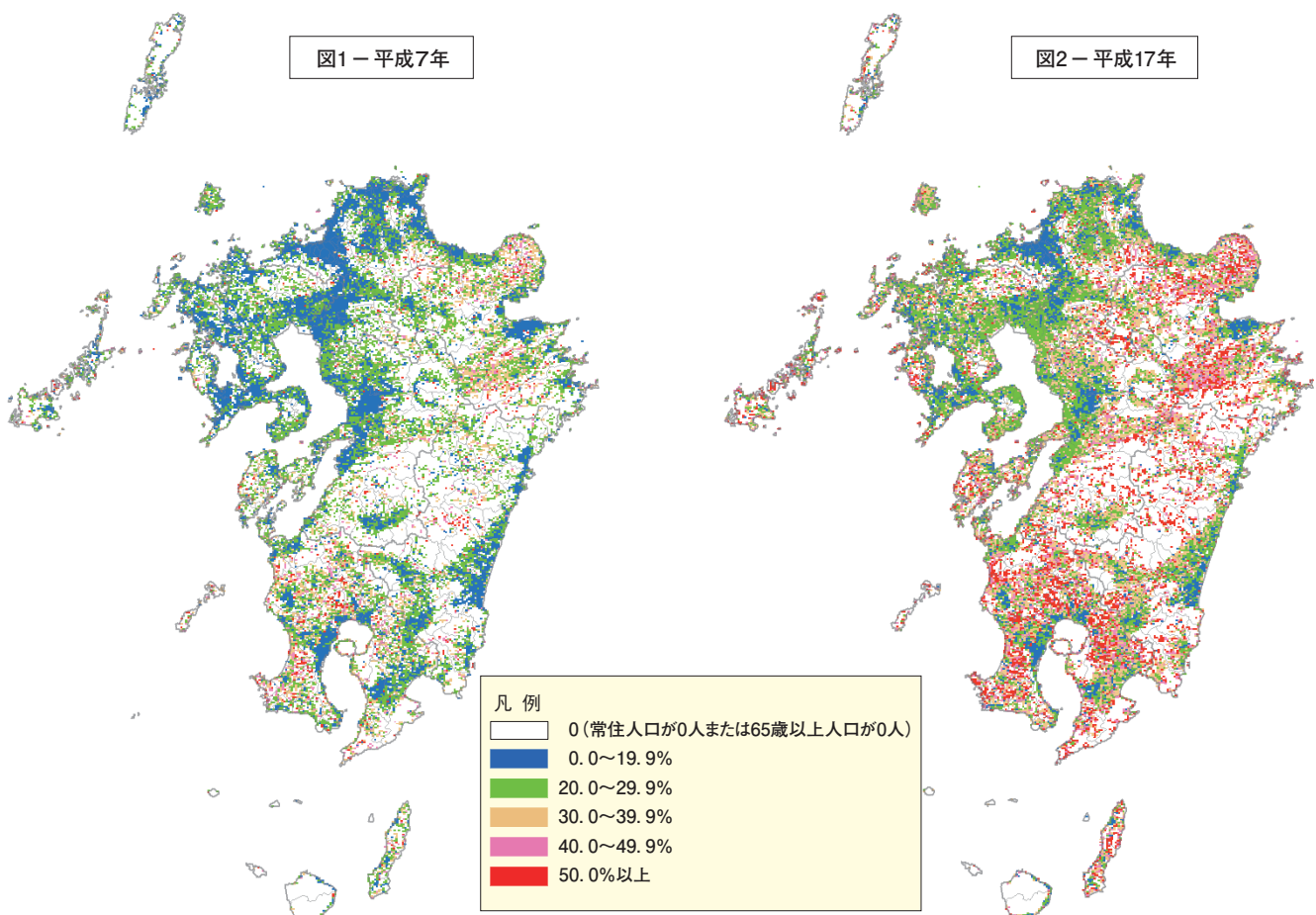
地域メッシュ統計は、ほぼ同一の区画を単位として編成するため、地域メッシュ相互間の計量比較が容易であり、市町村などの行政区域の境域変更や、地形・地物の変化による調査区の設定変更などの影響を受けることがなく、地域データの時系列的比較が容易であることなどの特長があります。

以下に示す図は、九州地区主要部について平成7年国勢調査と平成17年国勢調査の65歳以上人口の割合を基準地域メッシュ（約1km²）で表したものです。

両方の図を比較すると、都市部の一部を除き高齢化が進み、65歳以上人口の割合が50%以上のメッシュの数が大幅に増えているのが分かります。

このように統計データをメッシュで表現することにより、小地域での分布などの状況を把握できるとともに市町村合併等の行政区域の変更や、地形・地物の変更等の影響を受けずに時系列比較が可能となっています。

国勢調査に関する地域メッシュ統計（1km²）—九州— 65歳以上人口の割合



◎ 地域メッシュに関するホームページ <http://www.stat.go.jp/data/mesh/index.htm>